

# PDM (プロジェクト・デザイン・マトリックス)

平成 年 月 日作成

事業名 (実施期間):

対象地域:

受益者層 (ターゲットグループ):

50

プロジェクト要約 (Narrative Summary)	指標 (Objectively Verifiable Indicators)	指標データ入手手段 (Means of Verification)	外部条件 (Important Assumptions)
<u>上位目標 (Overall Goal) :</u> プロジェクト終了後、数年の後に実現しているべき、「改善された状態」を記述	「いつまでに、どういう状態になれば、上位目標が実現されたと見なすのか」の基準を記述 (客観的に検証できるもの)	上位目標が実現したかの指標をどうやって検証するのか (どこからデータを得るのか) を記述	
<u>プロジェクト目標 (Project Purpose) :</u> プロジェクト終了時に実現しているべき「改善された状態」を記述	「プロジェクト終了時まで、どういう状態になれば、プロジェクト目標が実現されたと見なすのか」の基準を記述 (客観的に検証できるもの)	プロジェクト目標が実現したのかの指標をどうやって検証するのか (どこからデータを得るのか) を記述	「プロジェクト目標が実現されたうえ、更にこの条件が満たされれば上位目標が実現するはずだ」という条件を記述
<u>成果 (Output) :</u> プロジェクト目標を達成するために実現しなければならない事項を記述	「いつまでに、どういう状態になれば成果が実現されたと見なすのか」についての基準を記述 (客観的に検証できるもの)	成果が実現したかの指標をどうやって検証するのか (どこからデータを得るのか) を記述	「成果が実現されたうえ、この条件が満たされれば、プロジェクト目標が実現するはずだ」という条件を記述
<u>活動 (Activities) :</u> 成果を生み出すために行なうべき行為を記述	<b>投入 (Inputs)</b>		「活動が行なわれたうえ、この条件が満たされれば、成果が生まれるはずだ」という条件を記述
	<b>日本側</b>	<b>現地側</b>	
	活動を行なうために必要な資源を記述	活動を行なうために必要な資源を記述	<u>前提条件 (Pre-conditions) :</u> そもそもプロジェクトを開始するために必要な条件を記述

## PDM (プロジェクト・デザイン・マトリックス)

平成 年 月 日作成

事業名 (実施期間) : イナクコ国ルツ県ラス郡伝統手工芸品生産による収入向上計画 (2年6ヶ月間/平成〇年〇月~平成〇年〇月)

対象地域 : イナクコ国ルツ県ラス郡 A 村および B 村

受益者層 (ターゲットグループ) : 伝統手工芸品生産者グループ (女性〇名、男性〇名)、伝統手工芸品生産者グループの家族 (〇世帯約〇名)

51

プロジェクト要約 (Narrative Summary)	指標 (Objectively Verifiable Indicators)	指標データ入手手段 (Means of Verification)	外部条件 (Important Assumptions)
<p><b>上位目標 (Overall Goal) :</b> A 村及び B 村の住民の生活が向上する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産者グループメンバー以外の住民が伝統手工芸品生産者となり、その数が増加する。</li> <li>・ 生活が良くなったと感じる住民が増える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループメンバー活動記録、住民に対してのアンケート</li> <li>・ グループメンバー活動記録、住民に対してのアンケート</li> </ul>	
<p><b>プロジェクト目標 (Project Purpose) :</b> A 村及び B 村で伝統手工芸品生産による現金収入向上の機会が創出される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産者グループのメンバーの収入が、事業開始時に比べ 2 割程度向上する。</li> <li>・ 製品の売上が、事業開始時に比べ 2 割程度向上する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループメンバー活動記録、住民に対してのアンケート</li> <li>・ グループメンバー活動記録、現地状況 (市場) 調査記録</li> </ul>	
<p><b>成果 (Output) :</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 風雨を防ぐ共同作業場が整備される。</li> <li>2) 伝統手工芸品の生産者の技術が向上する。</li> <li>3) 伝統手工芸品生産者が組織化され、活性化される。</li> <li>4) 生産された伝統手工芸品が販売されるようになる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 共同作業場が事業開始 3 ヶ月後に 1 棟整備され、同作業場での作業が可能となる。</li> <li>2-1) 製品の売上及びグループメンバーの収入が、事業終了時までそれぞれ 20% 向上する。</li> <li>2-2) グループメンバーが生産できる製品の量が事業終了時まで 5% 増える。</li> <li>3-1) 生産者グループが、定期的に会合を行なうようになる等、組織として機能している。</li> <li>3-2) グループメンバー自ら、製作・製品管理等の計画を立てる。</li> <li>4) 土産物店、市場、日本で販売されるようになる。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループメンバー活動記録</li> <li>・ グループメンバー活動記録住民に対してのアンケート</li> <li>・ グループメンバー活動記録、住民に対してのアンケート</li> <li>・ グループメンバー活動記録、住民に対してのアンケート</li> <li>・ グループメンバー活動記録、住民に対してのアンケート</li> <li>・ 現地及び日本の状況 (市場) 調査記録、グループメンバー活動記録</li> </ul>	

様式 2-キ 記入例

<p><b>活動 (Activities) :</b></p> <p><b>1) 共同作業場の整備</b>                  1-1) 共同作業場の整備計画を立てる。                  1-2) 共同作業場の管理・運営計画を作る。                  1-3) 村人が土、砂を集める。                  1-4) 住民参加型で、共同作業場を整備する。</p> <p><b>2) グループメンバーに対する、手工芸生産技術の研修や品質管理・販売管理の研修</b>                  2-1) イナクコを学ぶ会（以下、当会）メンバー（手工芸品生産者）とグループメンバー間で、お互いの技術交換を行なう。                  2-2) グループメンバーに対し、手工芸品作成の研修を行なう。                  2-3) グループメンバーに対し、品質管理の研修を行なう。                  2-4) グループメンバーが国内の手工芸品店にて、販売管理等を学ぶ。                  2-5) 国内の手工芸先進地域（首都近辺にある観光地：ンナルクソ町を想定）の視察研修を行なう。</p> <p><b>3) グループメンバーによる組織づくりや運営管理</b>                  3-1) グループメンバーに経営・組織管理に関する研修を行なう。                  3-2) グループメンバー間の会合等を、グループメンバー自身の手により運営していくよう動機付けする。</p> <p><b>4) グループ組織による販売活動</b>                  4-1) グループメンバーに対し、マーケティングに係る研修を行なう。                  4-2) 生産された商品を商標登録する。                  4-3) 土産物店や市場へ営業活動を行う。                  4-4) 当会を通じ、日本の会員等へ販売促進活動を行う。</p>	<b>投入 (Inputs)</b>		<p><b>前提条件 (Pre-conditions) :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イナクコ国の物流経路整備計画がルツ県においても実施される。</li> <li>・ 村長から予定通り土地が提供される。</li> </ul>
	<b>日本側</b>	<b>現地側</b>	
<p><b>【人材】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクトマネージャー（日本人）1名</li> <li>・ 現地調整員（日本人）1名</li> <li>・ 現地調整員（イナクコ人）1名</li> <li>・ 国内調整員（日本人）1名</li> <li>・ 講師（イナクコ人）： 組織運営、品質管理、経営財務、生産技術、技術指導それぞれ1名</li> </ul> <p><b>【資機材】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産技術研修用の資機材</li> </ul>	<p>相手国実施機関</p> <p><b>【人材】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーダー1名</li> <li>・ サブリーダー1名</li> <li>・ 調整・連絡要員2名</li> <li>・ 埋め戻し土、砂収集要員 数十名</li> </ul> <p><b>【資機材】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設用資機材の一部（土、砂）</li> </ul> <p><b>【施設】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共同作業所</li> <li>・ 資機材保管所</li> </ul>		